

gcc

Vol.163

第6回クロスメディア
カンファレンス特集号

■発行所／愛知県名古屋市中区東水切町3丁目40番地 株式会社伊藤美藝社製版所 内
TEL.052-938-8662 FAX.052-914-6064
■編集人／中部GCブランディング広報委員会



「AI」で変わる クリエイティブの未来

平成30年10月11日、ウインクあいちにおいて「第6回・クロスメディアカンファレンス」が開催されました。

今回は講師に境祐司氏・松田徹也氏、田中水彩氏の3名をお招きし、「AIで変わるクリエイティブの未来」をテーマにご講演頂きました。

近年進化を続ける「AI」をテーマに、AIの概念や注目されるまでの歴史から始まり、実際にどのように活用されているか。AIを活用する場合はどのような姿勢で取り組むべきなのか、といった現実的なお話を聞くことができ、今後仕事をする上でどうやってAIと向き合えば良いのかを考えさせられる内容でした。

今号では、その講演の一部始終をレポートしていきます。



回そう、印刷。
広げよう、ビジネス。
PODが起こす大きな風で。

FFGS POD SOLUTION

FUJIFILM
Value from Innovation

オフセットもPODも、前工程も後工程も。 すべてのソリューションの真ん中にFFGS

FFGSは、ワークフローからCMS、そしてポストプレスにいたるまで、PODを、広く深く包括的にサポートする。戦略を立案し、皆さまと共にビジネス拡大に挑む。私たちはつねにソリューションの軸になり、あらゆる角度から、業界発展を促す大きな風を起こし続けます。



富士ゼロックス
Irisesse™ Production Press



富士ゼロックス
Versant™ 3100 Press



富士ゼロックス
DocuColor 1450 GA (Model-NE)

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フイルム名古屋ビル 052(201)8171

ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>

Session 01 クリエイティブに「SENSEI」がやってきた!

AIで変わる常識、私たちはいま何をすべきか

デザイン業界における
技術のパラダイムシフト

「AI」について考える前に、デザイン業界における技術の歴史についてお話を頂きました。

1980年代、従来の人の手によって行われてきたデザイン作業が、ポストスクリプトやMacの登場によって、パソコン上で出来るようになったことでデジタルデザイン革命が発生。90年代にはインターネット革命、そしてAIの登場が3回目の革命。

今回、私たちは「AI革命」を目の前にし、今知っておかないといけないことは、80年代の革命の際に起きた現実（世界中のすべてのデザイナーがパソコン上で線を描くことになる）という言葉に対し、当時「デザイナーは手で線を引くものだ」と、信じなかった人々は時代に取り残されてしまった）のお話がありました。同じ過ちを繰り返さない為には、「AI」に向き合い、将来のイメージをしていく必要が重要であるとお話を頂きました。

人間の仕事がAIに奪われる?

「AI」とは機械学習や深層学習を通して、多くの情報（＝ビッ

クデータ）を元に解を導き出すことができる「人工知能技術」です。

私たちの業界で、AIによって省略化されていく作業の例として、デザインのテスト・分析・評価・ユーザビリティ改善・サイトの情報設計などが挙げられました。近年では、人間はAIに仕事を奪われると言われていますが、境氏は一概にそうとは言えないと述べられます。「人の衝動に訴えかける見た目のデザイン」を創り出すクリエイティブな仕事や、AIを稼働させるためのプログラマーなど、「人」にしかできない仕事もあります。

一方で、テクノロジーに対抗して「人間にしかできないこと」を売りにしてしまうと、単に過重労働（作業）が増してしまう。そのため「AI」対「人間」ではなく、『AIを使いこなす人間』になることが重要。AIはあくまで人間のサポートであり、仕事の精度やスピードをあげるための補助的役割であるということを忘れてはいけなと述べられました。

すでに始まっている

クリエイティブ分野のAI活用

AIは、データを沢山与えて機会学習を続けると、人間

を上回る能力を身につけます。

実際に、AIは様々な場面ですでに活躍を始めています。アドビ社では「アドビ SENSEI」をクラウド上に実装し、ユーザがソフトを使っている間の動作※を吸い上げ、その情報がAIの機械学習となつていくそうです。（※ソフト側の設定で情報提供を許可したユーザの情報のみ）

作品データをAIに与え続けしていく事で、クリエイティブにおいて最強のAIを作る事が出来る。アドビ社はクラウドサービスの通して、クリエイティブ分野のAIを確立しようとしている、ということでした。

その一例として、今後フォトショップに導入予定の新機能の紹介がされました。

例えば鞆が撮影された写真があったとして、鞆のサイズが変更になったとする。今までは再撮影かCGで再現するしか無かったものが、新機能ではマウスで輪郭を伸ばすように大きさを指定すると、指定した大きさのカバンに修正が可能になる――。

これはクラウドサービスに集められた世界中のカバンの画像データを検索し、それらの情報を元に人工知能が考え、元のカバンの画像に合うように画像の生成を行

う、というもの。まるで本物のように自然な仕上がりになれるのは、膨大なデータによって実現可能となる、というお話がありました。

現状維持は後退と同じ

沢山のデータを元に考えるAIだからこそ、導入当初からいきなり何でも出来る訳ではありません。「AIなら何でもやってくれる」と過度な期待をせず、まずは「AI準備室を作る」ことから始め、「AIにできること、できないことを知る」事が大事であると述べられました。

第一部・境氏の講演では、AIを知り、現状を把握する事の大切さを教えて頂いた講演内容でした。

Adobe 公認エバンジェリスト
境 祐司氏



Session 02 「AI」でビジネスが変わる？

リクルートテクノロジーズ「A3RT」の挑戦

リクルート社内のAI事情

まず最初に、リクルート社内で実際に活用されているAI技術の事例として、次のサービスの数々をご紹介します。

▼チャットボット

問い合わせ対応を自動化（チャット化）により、問い合わせが約34%減。
24時間の対応も出来るようになった。

▼画像検索

画像タグ付けや季節の判別など。フィードバック機能をつけて、判別の正確性を学習して向上。

▼原稿不備率削減

ルールベースの校閲や、ユーザーによってカスタマイズされた校閲が可能に。
また原稿内不一致や、間違いを発見。

▼口コミ審査

運営サイトに投稿された口コミが批判的か肯定的かの判断や、口コミとして掲載しても良いワードなどを判別。最初に載せられないも

のをAIがはじき、その中だけを最終的に人がチェックすることで、人間のチェック量を軽減。

▼掲載可能な文章の自動生成

求人や、広告欄のキャッチコピーを生成。AIが作ったものを人間が判断して利用。

▼議事録自動生成

音声データからAIが要約し、文章を作成。

同社は大量のコンテンツを扱っている、「1から作る」事に関して、人間の労力を削ってくれるAIを活用しているようです。

松田氏によれば、「AIは無いと済んでしまう。だから導入したい人が強く広めないとAIの導入は進まない場合が多い。」と、実際の経験を元にしたAIの現状をお話頂きました。

AIとの向き合い方

AIは学習して精度が上がっていくものであり、初めから完璧だと思ってしまうとちよつとしたことで「使えない」と思われてしまう。本来は、まず作ってみて、

実際にモノとして出して試す。そして継続していくことが大切、というお話がありました。

また、現状の会社の課題を見極め、目的を持った上で、手段の一つとしての「AI」と考えて導入していくことが大切で、汎用型AIは大きい会社にかかせて、目的に合わせた特化型AIを目指した方が、実業務には役立つ。AIを流行で終わらせず、AIだけで完結しないで正しく活用していきたい、とお話を頂きました。

A3RTで出来ること

同社はWEBサービスとして「A3RT」というAPIサービスを一部公開されています。これは登録をすれば社外の人でも活用可能なサービスです。

通常はクロードな扱いが一般的な社内技術を何故無料で公開しているのかについて聞かれると、「よくするために、沢山のユーザーに使ってもらい、AIに学習させるデータを集める必要がある」と松田氏は目的について述べられました。

私たちがAIに触れるきっかけとして、A3RTのように一

般公開されたサービスを使ってみることで、どんなことができるのかを知り、学ぶチャンスがあります。

AIの普及や進化に伴って、私たち自身も、技術を扱えるよう学習していく事の大切さ教えて頂いた講演内容でした。



株式会社
リクルートテクノロジーズ
田中 水彩氏



株式会社
リクルートテクノロジーズ
松田 徹也氏

名古屋大会

朝まで語ろう、本音で語ろう、GCJ



第62回

GCJ名古屋大会開催!!

2019年5月17日、長島温泉 ホテル
花水木にて、日本グラフィックコ
ミュニケーションズ工業組合連合
会・名古屋大会が開催されます。
皆さまぜひ、ご参加ください。



両セッション違った視点で「AI」について
お話し頂いた今回のカンファレンス。
AIを効率良く活用していく為には、『使う
人自身がAIに対しての知識を増やしていく
必要がある』ということを感じます。
まずは自分にできる一歩から、日々少しずつ
勉強を始めてみる事が、将来AIを使いこな
せる人材になれる、近道となりそうです。
以上、カンファレンス特別号でした。



KONICA MINOLTA



Giving Shape to Ideas

進化し続けるマルチロール プロダクション印刷システム

350g/m²の厚紙対応力強化

最大1,200mmの長尺印刷に対応

高速・高品質な封筒印刷

高付加価値を生む多彩な後加工処理

AccurioPress

C2070/C2070P/C2060

*写真はC2070に
オプションを装着
したものです。

コニカミナolta ジャパン株式会社 PPG営業統括部 中部営業部

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル11F
TEL.052-229-4624 <http://konicaminolta.jp/pr/odp>

SCREEN

ACHIEVE THE EXTRAORDINARY IN PRINT



株式会社 メディアテクノロジー ジャパン 名古屋支店 / 052(218)6400
〒460-0003 名古屋市中区錦2-12-14 MANHYO第一ビル7階 www.mtjn.co.jp

インバウンド対応情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

チラシ、パンフレットなど、あらゆるコンテンツを多言語化し、スマート
フォンやタブレット端末に向けて、配信するクラウドサービスです。

詳しくは

エムシーカタログ



www.morisawa.co.jp

モリサワ

各種印刷製版用機器・資材販売
製版・油性・UV印刷薬品製造販売
UENO
ウエノ株式会社
名古屋営業所
〒464-0855 名古屋千種区千種通り5-8
TEL 052-741-5351 (代)
<http://www.uenocorp.co.jp>

TOYO INK
生活文化創造企業
www.toyoink.co.jp
東洋インキ株式会社 中部支社
Tel: 052-218-7460

□ 広告募集 □
GCCでは本誌面に掲載する広告を
募集しております。

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

アルミ・伸銅品
ステンレス・亜鉛版
兼岩株式会社
ノースセンター 本社
清須市阿原鴨池188 名古屋市中区伊勢山二丁目5番9号
電話: (052) 401-0555 電話: (052) 332-0555 (代)

KOBUNDOは、 真の「ソリューション企業」へ

クライアントのみならず、クライアントが抱えるユーザーの満足度を満たすために。



印刷機材の総合商社
株式会社 光文堂

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111 (代)

<http://www.kobundo.co.jp>